

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム うみのほし	定員	101名(ショート24名)
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 神戸海星会	開設	平成11年4月1日
所在地	〒657-0068 兵庫県神戸市灘区篠原北町3-11-15	TEL	078-881-1345
交通アクセス	阪急六甲駅より徒歩10分	URL	http://www.kobe-kaiseikai.com/index.php

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業					
特別養護老人ホーム デイサービス ショートステイ ホームヘルプ 居宅介護支援事業 地域包括支援センター グループホーム 地域密着型特別養護老人ホーム					
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)					
●介護・看護職員1名に対する入所者	3 名				
●介護・看護職員平均勤続年数	7 年				
●介護・看護職員平均年齢	27 歳				
●人材確保と育成の方針					
毎年、新卒入職者の採用。中途採用随時採用。 研修制度あり。プリセプター制度導入。 EPA外国人就労者の受け入れ。					
3 施設の方針・理念					
(基本理念)愛と奉仕 利用者の立場に立って宗教・国籍・民族の壁を越えた真心と魂のこもった援助を行い、より質の高いサービスを展開し、地域に開かれた施設運営を目指すために、下記の項目を実施します。 1.法令、利用者、社会的要求事項に適合した援助の実施 2.品質マネジメントシステムの継続的な改善 3.各部署における目標の設定と見直し、改善					
4 施設の特徴					
隣接する海星病院を協力病院とし利用者・職員ともにグローバルな視野で受け入れています。 外出・外泊は随時利用者・家族の希望に応じて、また自然発生的に出てきたことも(職員・利用者の世間話から発展、実行)。 看取り介護の実施により終の棲家として利用者・家族にも安心して過ごして頂いています。					
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ					
ボランティア:レクリエーション関係全般あり。 研修制度:新人・中途研修、内外部研修、初任者研修実施。 実習生:専門学校(介護、歯科衛生士)病院関係(看護師、医師)、教育実習など。					
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)					
あんすこリフレッシュ教室で使用してもらっています。 年1回、地域を含めた秋祭り開催。					
7 居室形態					
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型 <input type="checkbox"/> 個室ユニット型				
●料金	<table border="1"> <tr> <td>居住費</td> <td>320円</td> <td>食費</td> <td>1700円</td> </tr> </table>	居住費	320円	食費	1700円
居住費	320円	食費	1700円		
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)					
家族交流会、外出・行事の参加、面会時、 月1回のお手紙で近況の報告、随時報告、相談。					

■サービス提供体制

入所条件	要介護1～5の方。
施設内自由度	寝たきり防止の為、食事は食堂で摂っていただいています。 フロア内やデイサービス設置の喫茶にもお出かけ可です。
居室の環境	家具設置しているが持ち込み可です。 植物も管理できる場合は持ち込み可です。 4人部屋にトイレ、洗面所1ヶ所ずつ設置しています。
外出などの自由	家族付き添いの場合、いつでも可です。 施設立案の場合でも希望があれば家族参加可です。
身体拘束・虐待防止対策	身体拘束廃止委員会(月1回)。 研修(年2回)。 外部研修随時参加。
食事	個別対応可です。 (嗜好、アレルギー、状態に合わせた食事形態) 週1回選択食あります。
入浴	週2～3回、個浴～機械浴まで対応可です。
排泄ケア	プライバシーに配慮した排泄介助を実施。 看護師による排便管理(便秘予防)。
医療体制	24時間連携体制あり。
ターミナルケアの実施	<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない 退所された方の9割以上の方がターミナルでの退所。
認知症ケア	主に外部研修を通じて内部へのフィードバックを実施。
アクティビティ	歩行練習、月1回の誕生日会、ケーキバイキング。 食前体操、季節に応じた外出、行事(盆踊り、ルミナミエ等)。

特別養護老人ホーム うみのほし

総合評価

- ◎ 利用者の笑顔が良く見られる。また支援をしている現場スタッフも目が輝いている。経営者や管理者はより良い施設運営ができるよう努力を重ねている。このような施設運営サイドと現場スタッフの双方の相乗効果で利用者の満足につながるケアが提供されている。今後も継続して利用者本位のケアの追及がなされることと思われる。
- ◎ 利用者の暮らす施設は環境面で言えば少し年数も経っており、今日求められるユニットケア的ハードの提供には至らないが、その中でできることを一生懸命にやっている姿勢は評価できる。経営陣や管理職も中短期的に施設のありようを見定めて手を打っていている。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ ISO への取り組みを行って以来、すでに何度かの更新をしており、今回の第三者評価につながる取り組みを行ってきた。施設のあり方を以前から真剣に考えてきたことの証ととらえられ、特筆すべき点である。
- ◎ こうした自己評価の経験をもとに定期的に行っている「うみのほし会議」を中心に各種会議が組み立てられており、上層部から現場職員に至るまで、さらに職種を超えて、施設全体として施設のレベルアップを図っている。理念だけでなく「うみのほし十戒」を掲げて職員の精神面を支えている点も評価できる。さらには、法人全体で行う「総選挙」は職員のモチベーションアップに繋がっており、また他職員の目標ともなるもので、うまく機能している。
- ◎ 上層部はしっかりした経営方針を持って経営に取り組んでおり、また管理職も現場スタッフとのコミュニケーションを丁寧にとっており、上層部から現場職員にも至るまで活き活きと働いている。利用者の満足度が高いのはこうしたケアスタッフに負うところが多いと思われる。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 施設運営全般にわたって、特に現時点では職員採用、職員研修について、できることなら長期的展望に立って取り組んでいきたいところだが、日本の介護の実態を踏まえて考えると、なかなか長期的展望に立って経営を進めていくのも困難な点があると思われる。
- ◎ 職員研修も 1 年目や中途採用者への研修プログラムは熱心に取り組んでいるが、中堅以降の研修についてはしっかりとプログラムを考えていく必要があると思われる。また、職員のキャリアアップに向けた取り組みも難しい点はあると理解できるが、できるだけ職員の目標になるような形で示していけるとよいのではないかと考える。
- ◎ 地域に向けての情報発信は、ぜひ取り組んで頂きたい点である。施設という大きな枠で地域貢献を考える必要はもちろんあるが、まずは個々の職員（経営陣から現場スタッフに至るまで）の日ごろ感じることとか、介護への思いなどのちょっとしたことから発信していったらどうだろう。そうしているうちに施設として提供できる情報などが見つかれば、発信の仕方などについてもうまい方法が見つかるのではないかと考える。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム うみのほし

記入者 施設長

当施設の見解

施設で生活されているご利用者の笑顔だけでなく、働いている職員の表情まで評価していただき大変光栄です。

ご指摘いただいた中堅職員への研修については、今年度より在籍年数によってグループ分けをしたうえで、それぞれの層に応じた研修内容を計画していくことになりました。

また、地域に向けた情報発信についても社会福祉法人としての使命を果たす上でも重要視している点なので、今年は地域住民との交流の機会を持ちたいと考えています。

社会の変化には柔軟に対応しながら、うみのほしの基本理念である「愛と奉仕」の精神はこれからも変わらず大切にしていきます。